

## 第5講 『 脱毛症・インポテンツ 』

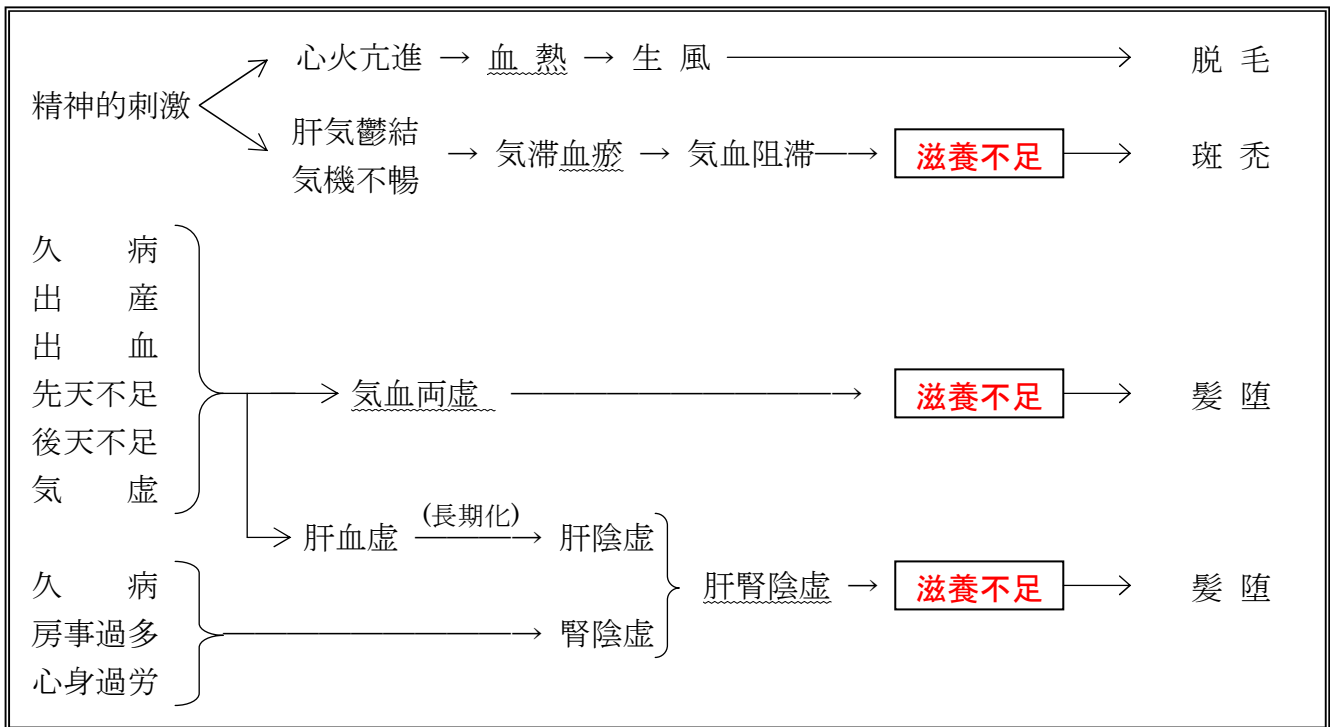
### 第1節 『 脱毛症 』

：「髮墮」と呼ばれる。また円形脱毛症を「斑禿」「油風」と呼ぶ。

\* 髪は血の余り

【 分類 】 { 実証 : **血熱、瘀血**  
虚証 : **気血両虚、肝腎陰虚**

#### 【 病因病機 】



#### 【 弁証の要点 】

##### (1) 脱毛の特徴

{ 血熱 — 部分的 (斑禿)  
瘀血 — 部分的 (斑禿) もしくは全体  
気血両虚 — 全体  
肝腎陰虚 — 全体 (壮年性脱毛)

## 【 症状と処方例 】

《 斑禿の対症施術 》

- ① 梅花鍼 — 患部の皮膚が光滑であるものには強めに、細い毛が生え出しているものには弱めに行う。
- ② 患部の周囲約 2 c m に囲むように鍼尖を中心に向け横刺。

## 1. 血 熱

[症 状] 部分的に脱毛するものが多い。全身症状は顕著でないが、口渇、便秘、尿が黄色い、舌紅苔黄等の症状を伴うこともある。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
対症施術	***	****	* * * * * * * * * *
膈 兪	膀胱経	清 血 熱	第 7・8 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
通 里	心 経	清瀉心熱	神門穴の上 1 寸
内 関	心包経		大陵穴の上 2 寸
風 池	胆 経	祛風清熱	乳様突起下端と瘻門穴との中間で、後髪際陥凹部を取る
曲 池	大腸経		肘を屈曲してできる肘窩横紋の外方で、上腕骨外側上顆の前

## 2. 瘀 血

[症 状] 部分的または全体的に脱毛、持続的に経過。口渇するが飲みたくない、顔色がどす黒い、頭痛を伴うものもある。舌暗紅、瘀斑を伴うこともある、脈澀。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
太 衝	肝 経	行気活血化瘀	足背にあり、第 1・2 中足骨底間の前、陥凹部を取る。
膈 兪	膀胱経		第 7・8 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
血 海	脾 経		膝蓋骨内上角の上 2 寸
風 池	胆 経	顔面・五官病常用穴	乳様突起下端と瘻門穴との中間で、後髪際陥凹部を取る

※ 部分的なものには上記の対症施術を加える

### 3. 気血両虚

【症 状】 全体的に進行、年齢性別に関係なく発病、久病・産後に発病しやすい。疲労倦怠感、息切れ、顔面蒼白で艶がない、皮膚粘膜の蒼白、舌淡、脈細弱。

【処方例】

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
足三里	胃 経	補中生気血	膝を立て、外膝眼穴の下3寸に取る
三陰交	脾 経		内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際を取る
膈 兪	膀胱経	養 血	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分
氣 海	任 脈	補 氣	神闕穴の下1寸5分

### 4. 肝腎陰虚

【症 状】 持続的に脱毛、頭頂・両額角から脱毛、頭皮の油脂が多い。腰膝軟酸、耳鳴り、目の乾燥、舌紅苔少、脈細数。

【処方例】

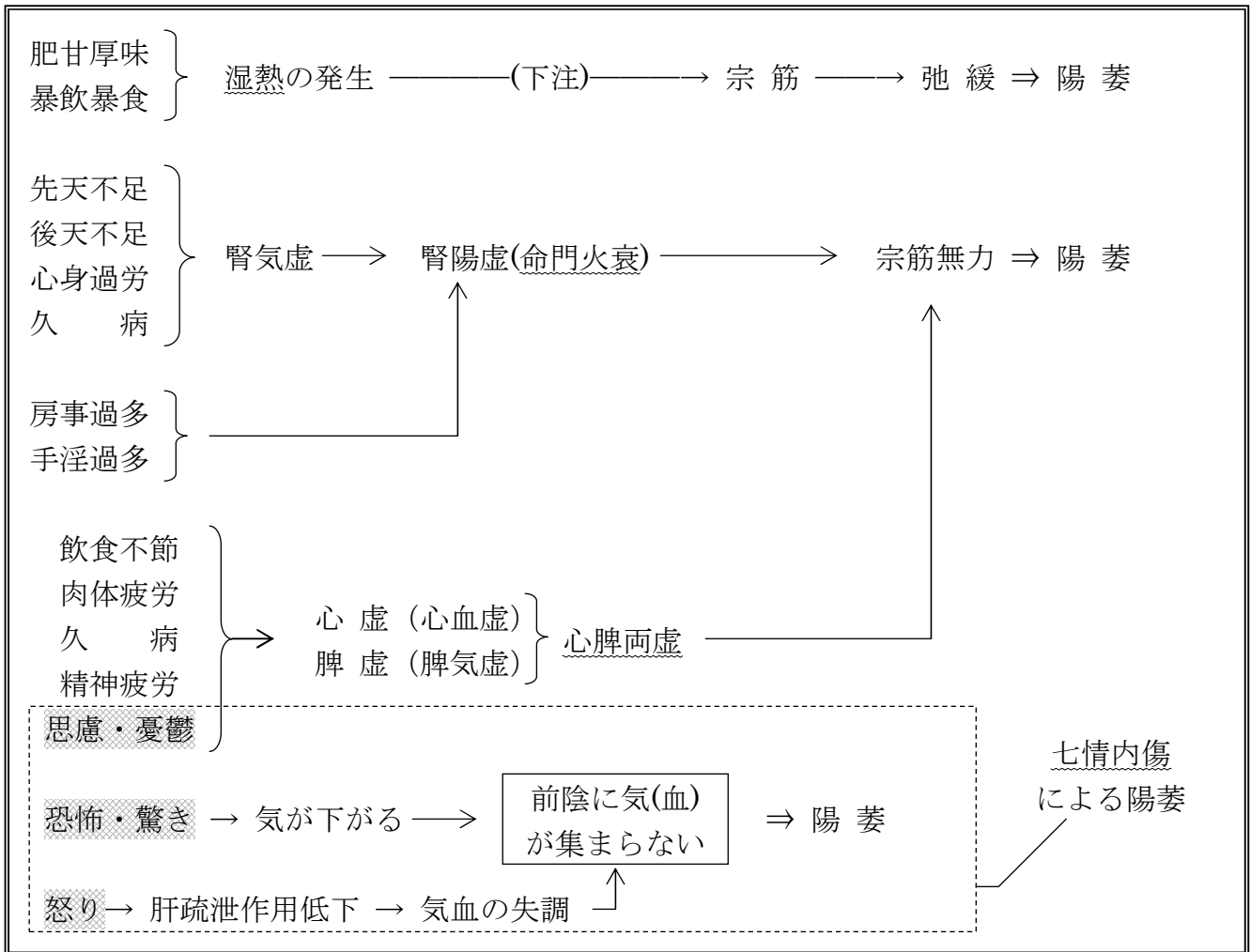
	経 絡	意 義	取 穴 部 位
太 谿	腎 経	滋補腎陰	内果の最も尖ったところの高さで、内果とアキレス腱の間
腎 兪	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分を取る
肝 兪	膀胱経	滋補肝陰	第9・10胸椎棘突起間の外1寸5分
血 海	脾 経	養 血	膝蓋骨内上角の上2寸
足三里	胃 経	補中生血	膝を立て、外膝眼穴の下3寸に取る

## 第2節 『インポテンツ』

：陰茎の勃起不全または持続できないもの。「陽萎」と呼ばれる。

【 分 類 】 { 実 証 : 湿 熱  
虚 証 : 命門火衰、心脾両虚、七情内傷 (怒りによるものは本実標虚)

【 病因病機 】



【 弁証の要点 】

(1) 傾向

- 臨床で最も多いタイプ - 腎陽虚
- 臨床で最も少ないタイプ - 湿熱

【 症状と処方例 】

\* 対症選穴（基本穴）：

	経絡	意義	取穴部位
関元	任脈	興奮宗筋	前正中線上で臍下3寸
中極	任脈		前正中線上で臍下4寸
腎俞	膀胱経	培腎固本	第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分を取る
三陰交	脾経	健脾益気 清熱利湿	内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際を取る

## 1. 湿熱

[症 状] 陽萎、陰囊の湿り、または臭いや痒みを伴う。下肢の重だるさ、小便黄、舌苔黄膩、脈濡数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
対症選穴	***	****	* * * * * * * * * *
陰陵泉	脾 経	清利湿熱	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際、陥凹部
陽陵泉	胆 経		腓骨頭の前下際、陥凹部
水 分	任 脈		神闕穴の下1寸

## 2. 命門火衰

[症 状] 陽萎、陰部の冷え。腰膝のだるさ、寒がり、四肢の冷え、精神不振、顔色が白くつやがない、めまい、耳鳴り。舌淡あるいは胖大を伴う、脈沈細・沈遅、特に尺中が弱い。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
対症選穴	***	****	* * * * * * * * * *
命 門	督 脈	温腎助陽	第2・3腰椎棘突起間
志 室	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間、外3寸
氣 海	任 脈		神闕穴の下1寸5分

## 3. 心脾両虚

[症 状] 陽萎（陽事不挙）、精神不振、不眠、食欲不振、顔色が悪い（面色不華）。

舌淡、脈濡弱。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
対症選穴	***	****	* * * * * * * * * *
心 兪	膀胱経	補 心 血	第5・6胸椎棘突起間の外1寸5分
脾 兪	膀胱経	補 脾 気	第11・12胸椎棘突起間の外1寸5分を取る
足三里	胃 経	補中生気血	膝を立て、外膝眼穴の下3寸を取る

## 4. 七情内傷

[症 状] 陽萎、気が小さくなり疑い深くなる、ドキッと驚き易い、不安感があり眠れない、

脈弦細。或いは陽萎、情緒の抑鬱あるいはイライラして怒り易い、胸脇脹満、脈弦。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
対症選穴	***	****	* * * * * * * * * *
命 門	督 脈	交通心腎 安神定志	第2・3腰椎棘突起間
百 会	督 脈		正中線上、前髪際の上5寸
神 門	心 経		手関節前面横紋の尺側、豆状骨の上際で尺側手根屈筋腱の橈側